



地球はつづく、
化学でつなぐ!

 TOAGOSEI

2023年12月期 第2四半期 決算説明会資料

 東亞合成株式会社

2023年 8月 9日

1. 2023年12月期第2四半期業績 P.2～
2. 2023年12月期業績予想 P.11～
3. トピックス P.22～
4. PBR改善に向けた
当社グループの取組み P.29～
5. 参考資料 P.36～

2023年12月期第2四半期業績

事業環境

- 欧米ではインフレ抑制のため金利は上昇、日本では緩やかなインフレを目標とした金融緩和が継続。中国経済の回復ペースは鈍化。
- 米中覇権争いによるデカップリングにより、サプライチェーン再編の動きが見られるようになった。
- 欧米でも製造業の景気減速感が強まる中、エチレンなどの基礎原料の生産設備稼働率は長期間にわたり低迷。

2023年12月期第2四半期決算概況

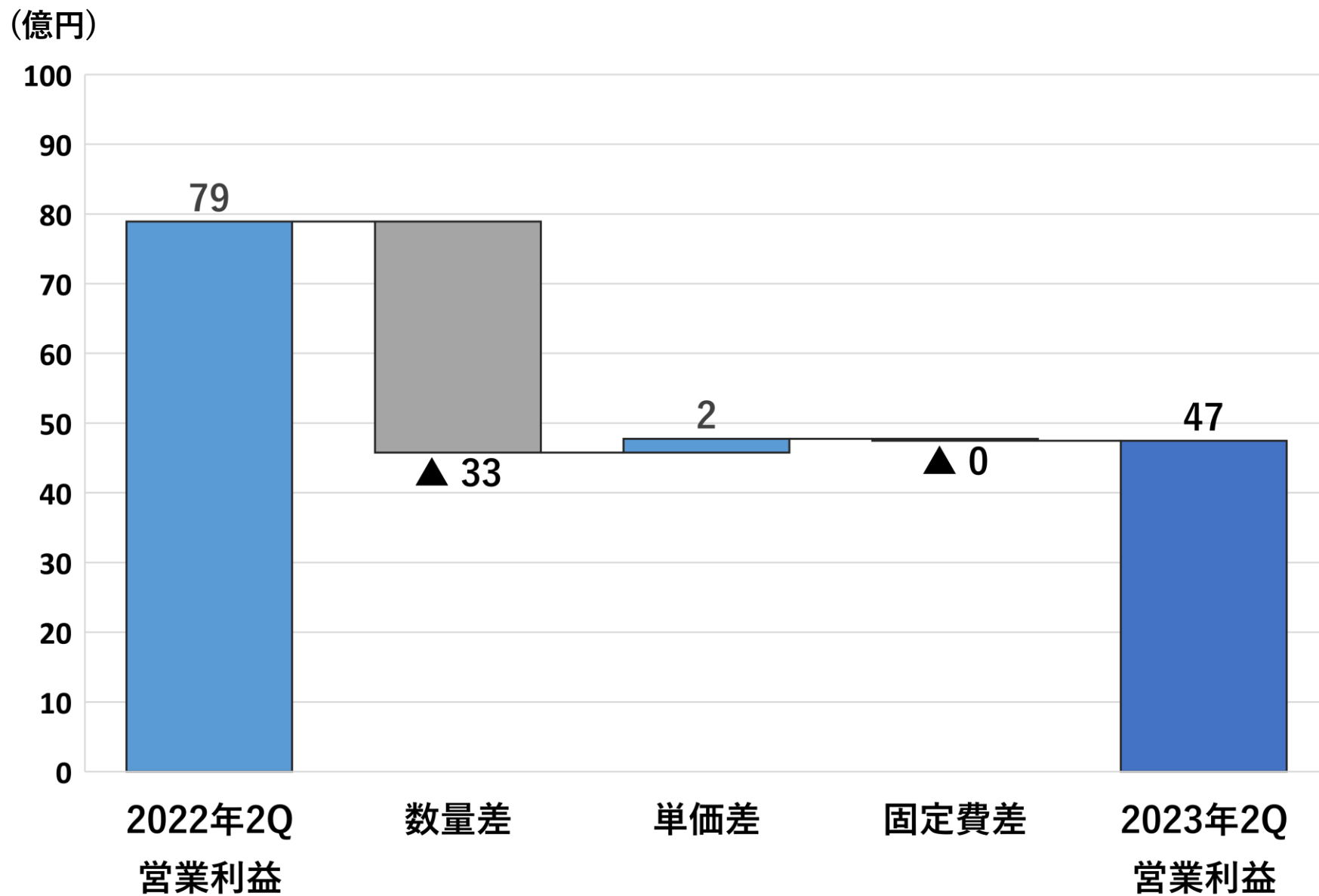
- 幅広い分野の川上に位置する基幹化学品などは、内外経済の影響を強く受け、全般的に出荷数量は減少。
- 車載用電池向け製品やメディカルケア製品などの開発製品は販売増加。
- 2023年第2四半期は、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比でマイナス。

2023年第2四半期決算概要

	2022年2Q	2023年2Q	増減	増減率
売上高 (百万円)	77,977	76,947	▲1,030	▲1.3%
営業利益 (百万円)	7,891	4,746	▲3,145	▲39.9%
営業利益率	10.1%	6.2%	▲4.0 P	—
経常利益 (百万円)	9,387	6,172	▲3,214	▲34.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	7,391	5,469	▲1,921	▲26.0%
1株当たり四半期純利益 (円)	59.36	45.71	▲13.65	▲23.0%
第2四半期配当 (円) (年間) 2023年は予想	18.0 (36.0)	20.0 (40.0)	2 (4)	+11.1% (+11.1%)

注記：連結の範囲は変更あり。2023年2Qから、東亜合成（上海）企業管理有限公司が追加。
（連結子会社 19社、持ち分法適用会社 2社）

営業利益増減分析



（百万円）

売上高	2022年2Q A	2023年2Q B	数量差	単価差	増減 B-A
基幹化学品	35,020	35,102	▲3,375	3,456	81
ポリマー・オリゴマー	18,000	16,425	▲2,700	1,125	▲1,574
接着材料	5,430	5,608	▲141	319	178
高機能材料	4,983	5,285	▲161	463	301
樹脂加工製品	13,708	13,589	▲1,270	1,150	▲119
その他・調整額	833	936	102	0	102
合計	77,977	76,947	▲7,546	6,515	▲1,030

営業利益	2022年2Q		2023年2Q		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	3,863	11.0 %	2,205	6.3 %	▲1,658
ポリマー・オリゴマー	2,300	12.8 %	1,339	8.2 %	▲961
接着材料	59	1.1 %	▲161	▲2.9 %	▲221
高機能材料	1,145	23.0 %	959	18.1 %	▲185
樹脂加工製品	812	5.9 %	669	4.9 %	▲143
その他・調整額	▲289	—	▲264	—	24
合計	7,891	10.1 %	4,746	6.2 %	▲3,145

注記：それぞれ、2022年は2023年のセグメント変更を反映した値

連結会社概況（当期実績）

（百万円）

会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
			22年2Q	23年2Q	22年2Q	23年2Q	22年2Q	23年2Q
1 東亞テクノガス	基幹化学品	100	1,718	2,013	63	81	80	71
2 トウアゴウセイ・シンガポール	↓	100	2,847	1,793	903	▲149	911	▲77
3 (MTエチレンカーボネート)	↓	90	369	230	4	1	4	1
4 MTアクアポリマー	ポリマー・ポリマー	90	6,992	6,381	282	110	250	75
5 台湾東亞合成	↓	100	1,001	1,087	118	133	106	111
6 東昌化学	↓	51	1,245	890	33	64	13	46
7 東亞合成（張家港）新科技	↓	100	1,049	787	10	46	▲6	29
8 トウアゴウセイ・タイランド	↓	100	1,089	1,237	▲8	25	▲17	▲4
9 トウアゴウセイ・アメリカ	接着材料	100	907	919	▲13	▲112	57	12
10 (アロン包装)	↓	100	130	119	3	0	2	0
11 東亞合成香港	↓	100	135	141	10	10	10	10
12 東亞合成珠海	↓	100	304	429	▲34	▲22	▲28	▲20
13 アロン化成	樹脂加工	100	12,760	12,882	890	787	512	458
14 アロンカセイ・タイランド	↓	100	285	269	▲92	▲122	▲98	▲132
15 東亞興業	その他	100	558	564	▲10	20	▲10	16
16 東亞ビジネスアソシエ	↓	100	1,028	1,045	▲26	35	▲27	23
17 TGコーポレーション	↓	100	629	692	175	199	124	140
18 (東亞物流)	↓	100	282	278	9	6	6	4
単純合計			33,328	31,756	2,317	1,112	1,889	763

注記：（）の会社 = ほぼ全量が当社との取引

連結損益計算書(営業外損益・特別損益)

(百万円)

営業外損益	2022年 2Q	2023年 2Q	増減
受取利息・配当金	625	747	122
持分法による投資利益	136	174	37
為替差益	769	345	▲424
固定資産賃貸料	108	89	▲18
雑収入	109	256	146
支払利息	▲41	▲63	▲21
遊休設備費	▲12	▲6	6
環境整備費	▲166	▲43	122
雑支出	▲32	▲73	▲41
合計	1,495	1,425	▲69

(百万円)

特別損益	2022年 2Q	2023年 2Q	増減
投資有価証券売却益	1,000	1,452	451
補助金収入	283	79	▲203
固定資産処分損	▲380	▲103	276
投資有価証券評価損	▲112	▲3	108
合計	791	1,423	631

為替レート	2022年 6月末	2022年 12月末	2023年 6月末
円 / USD	136.68	133.94	144.99
円 / THB	3.85	3.87	4.07

ナフサ価格	2022年 1-6月平均	2023年 1-6月平均
円 / ke	75,650	66,800

連結貸借対照表

(百万円)

	2022年 12月末	2023年 6月末	増 減
流 動 資 産	138,985	133,097	▲5,888
現金・預金	40,366	36,871	▲3,495
受取手形・売掛金	49,848	47,002	▲2,846
有価証券	18,000	17,000	▲1,000
棚卸資産	25,511	26,947	1,436
その他	5,258	5,275	16
固 定 資 産	126,150	132,981	6,831
有形固定資産	90,774	92,186	1,411
無形固定資産	1,592	1,597	4
投資有価証券 ①	28,472	33,774	5,302
その他	5,310	5,423	112
資 産 合 計	265,135	266,078	943

	2022年 12月末	2023年 6月末	増 減
負 債 合 計	54,328	55,367	1,039
支払手形・買掛金	19,653	18,492	▲1,161
借入金	11,065	10,994	▲70
未払法人税等	2,176	1,629	▲546
その他	21,432	24,250	2,817

	2022年 12月末	2023年 6月末	増 減
純 資 産 合 計	210,807	210,711	▲95
株主資本	193,053	192,349	▲704
その他の包括利益 累計額 ①	12,915	17,381	4,465
非支配株主持分②	4,837	979	▲3,857
負債・純資産合計	265,135	266,078	943

①保有有価証券の株価上昇に伴う増加

②連結子会社MTアクアポリマー(株)の出資比率増加
(51% → 90%)に伴う減少

	2022年 12月末	2023年 6月末	増 減
自己資本比率	77.7%	78.8%	+1.1 P

(百万円)

		2022.2Q	2023.2Q	増減
営業キャッシュ・フロー	A	11,190	13,607	2,417
投資キャッシュ・フロー	B	▲9,270	▲4,454	4,816
フリー・キャッシュ・フロー	C=A+B	1,919	9,153	7,233
財務キャッシュ・フロー	D	▲6,147	▲13,172	▲7,025
その他	E	703	268	▲434
現金及び現金同等物の増減額	F=C+D+E	▲3,523	▲3,749	▲225
現金及び現金同等物の期末残高	G	42,980	41,089	▲1,890

2023年12月期業績予想

事業環境

- 日本では、自動車の生産台数の回復、アフターコロナによる経済活動の正常化、大幅な賃上げなど、景気回復への期待が高まっている。
- ウクライナ情勢、米国のインフレ動向、欧州・中国の経済状況、米中覇権争いによるサプライチェーンの再編成など、先行きは不透明。

2023年下期の課題

- サプライチェーン、市況、原燃料価格などの動向に注意を払いながら柔軟に対応し、事業拡大と収益確保に努める。
- 研究開発に重点を置き、開発品の実績化を加速。
- 資本政策の深化
2025年中期経営計画期間の期間総還元性向を100%を目途とする。
2023年は年間4円の増配を予定。
中間配当 18円⇒20円、期末配当 18円⇒20円 合計40円を計画。
取得枠60億円の自己株式取得は継続。

2023年12月期 連結業績予想（前年同期比）

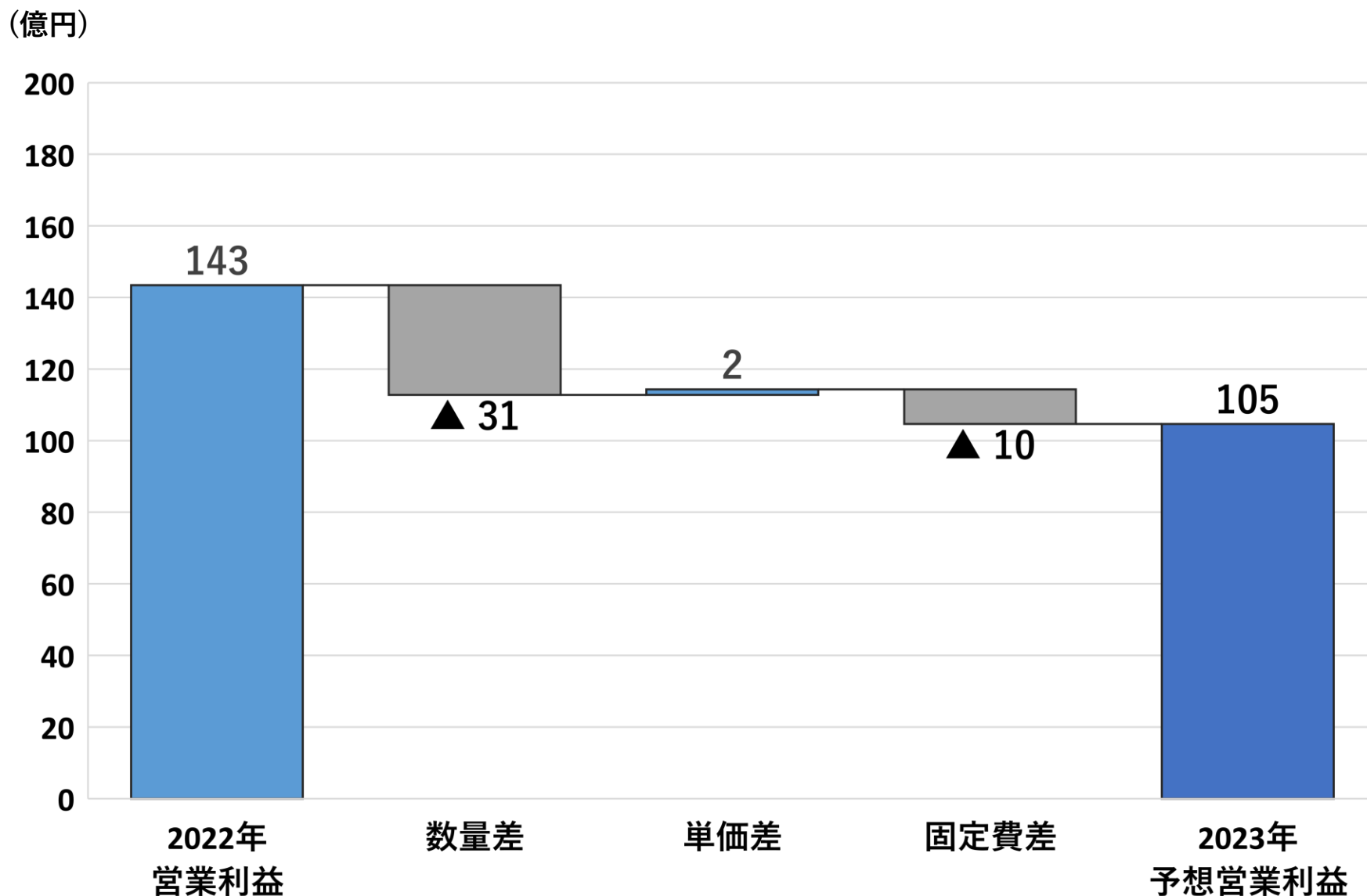
（百万円）

	2022年実績			2023年予想 (2023年7月31日発表)			増減 (B-A)
	上期	下期	年間 (A)	上期 実績	下期 予想	年間 (B)	
売上高	77,977	82,848	160,825	76,947	85,453	162,400	1,575
営業利益	7,891	6,491	14,382	4,746	5,754	10,500	▲3,882
営業利益率	10.1%	7.8%	8.9%	6.2%	6.7%	6.5%	▲2.5 P
営業外損益	1,495	567	2,063	1,425	74	1,500	▲563
経常利益	9,387	7,059	16,446	6,172	5,828	12,000	▲4,446
特別損益	791	77	868	1,423	876	2,300	1,431
親会社株主に帰属する 当期(または四半期)純利益	7,391	5,103	12,494	5,469	4,831	10,300	▲2,194
配当（円）	18	18	36	20	20	40	4

< 参考 >

	2022年実績	2023年予想 (2023年7月31日発表)
為替レート（期中平均）（円/USD）	129.67	140.00
ナフサ価格（期中平均）（円 / kℓ）	76,150	60,000

補足：ナフサkℓ当たり1千円の変動で±300百万円。為替：1円/USDの円安で▲130百万円。



2023年12月期 連結業績予想（部門別 前年同期比）

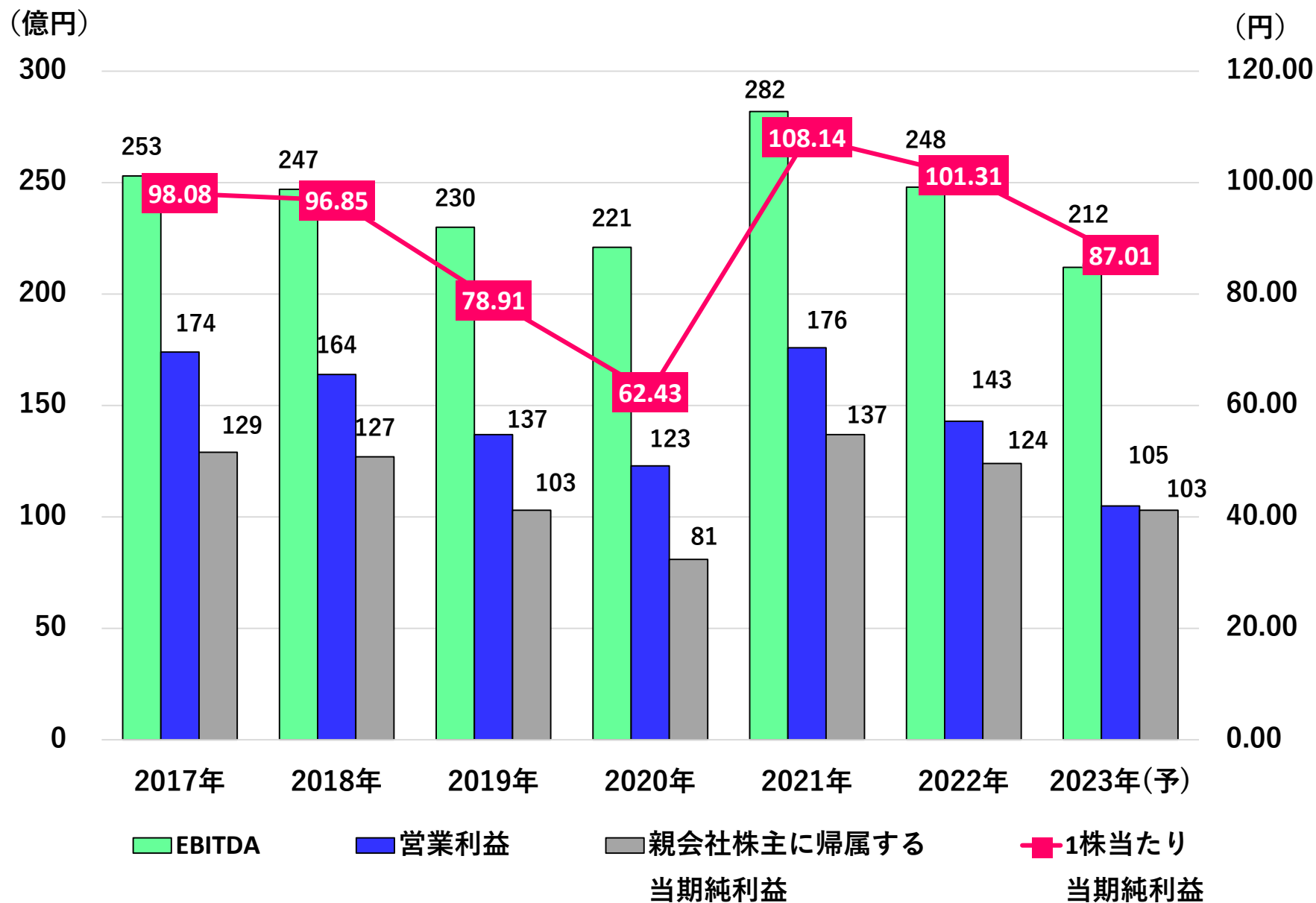


（百万円）

売上高	2022年 実績			2023年 予想 (2023年7月31日発表)			増減
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
基幹化学品	35,020	38,908	73,929	35,102	39,098	74,200	270
ポリマー・オリゴマー	18,000	17,808	35,809	16,425	18,675	35,100	▲709
接着材料	5,430	5,701	11,132	5,608	6,392	12,000	867
高機能材料	4,983	5,483	10,466	5,285	5,115	10,400	▲66
樹脂加工製品	13,708	14,045	27,754	13,589	15,511	29,100	1,345
その他・調整額	833	899	1,732	936	664	1,600	▲132
合計	77,977	82,847	160,825	76,947	85,453	162,400	1,574

営業利益	2022年 実績				2023年予想 (2023年7月31日発表)				増減
	上期	下期	年間	率	上期	下期	年間	率	
基幹化学品	3,863	2,943	6,807	9.2%	2,205	3,295	5,500	7.4%	▲1,307
ポリマー・オリゴマー	2,278	1,931	4,209	11.8%	1,339	1,561	2,900	8.3%	▲1,309
接着材料	81	▲288	▲207	—	▲161	261	100	0.8%	307
高機能材料	1,145	1,216	2,361	22.6%	959	541	1,500	14.4%	▲861
樹脂加工製品	812	946	1,759	6.3%	669	731	1,400	4.8%	▲359
その他・調整額	▲289	▲258	▲547	—	▲264	▲636	▲900	—	▲353
合計	7,891	6,491	14,382	8.9%	4,746	5,754	10,500	6.5%	▲3,882

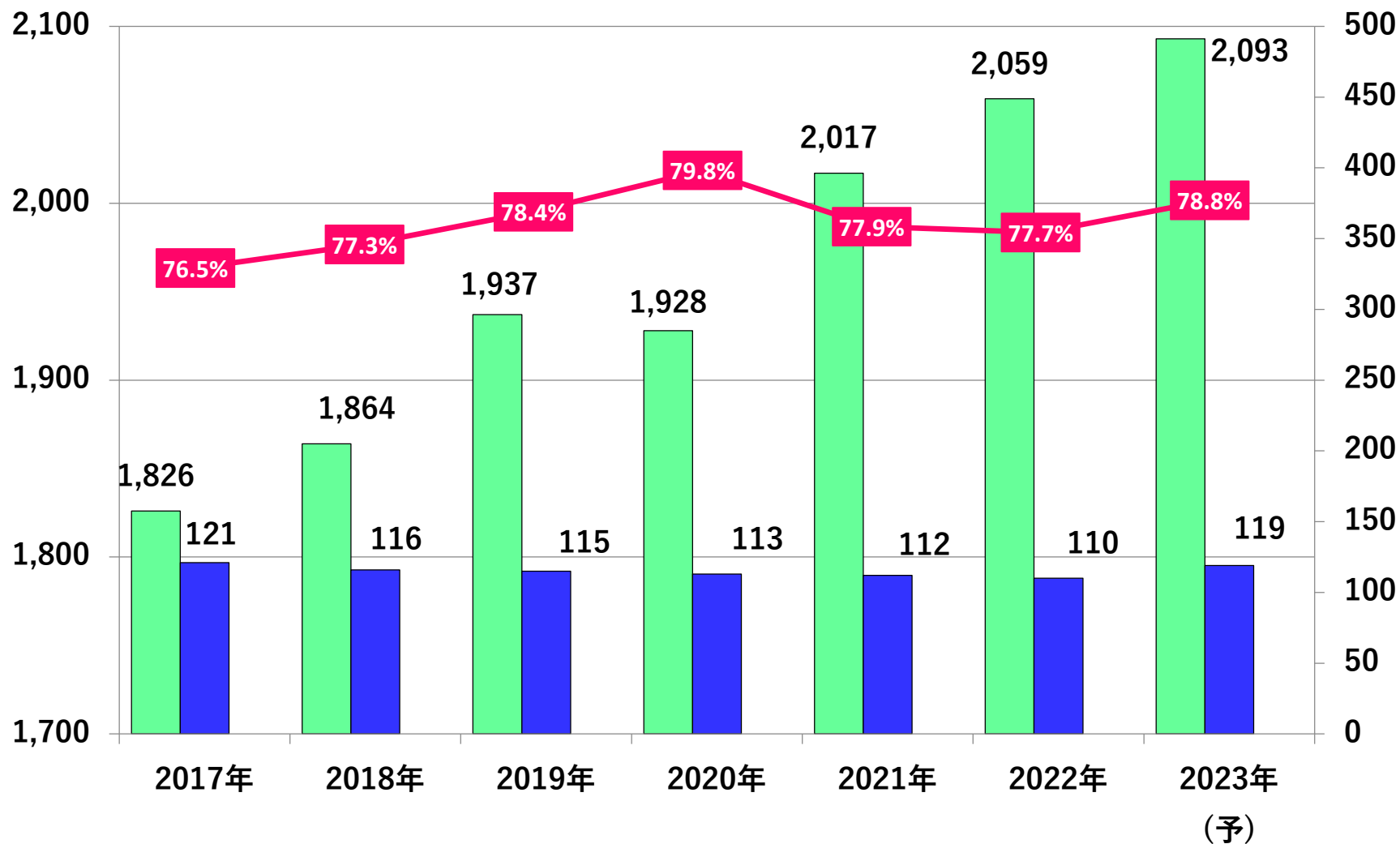
注記：それぞれ、2022年は2023年のセグメント変更を反映した値



連結経営参考数値の推移

(自己資本：億円)

(有利子負債：億円)



■ 自己資本 (左目盛)

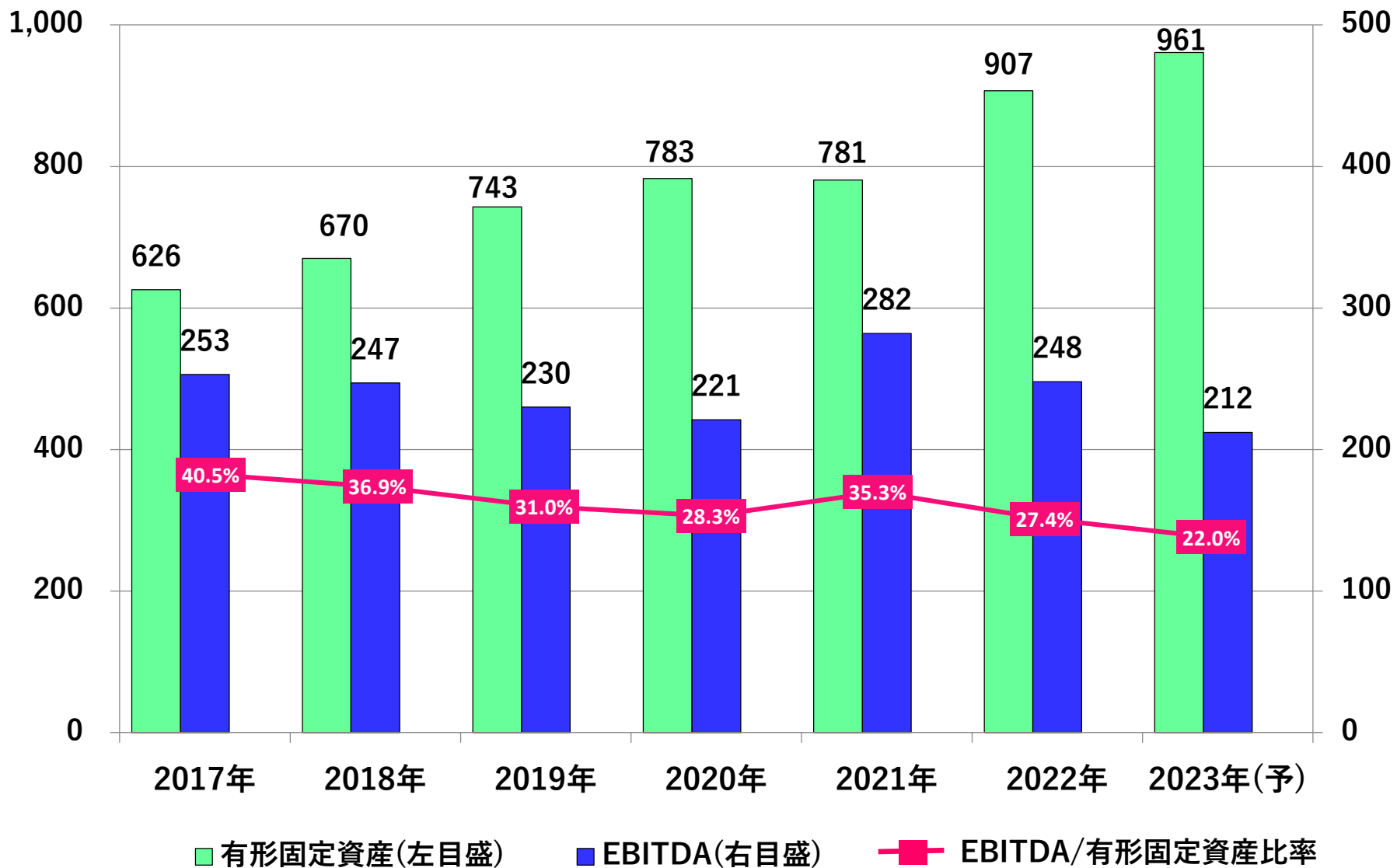
■ 有利子負債 (右目盛)

—■— 自己資本比率

EBITDA/有形固定資産比率の推移

(有形固定資産：億円)

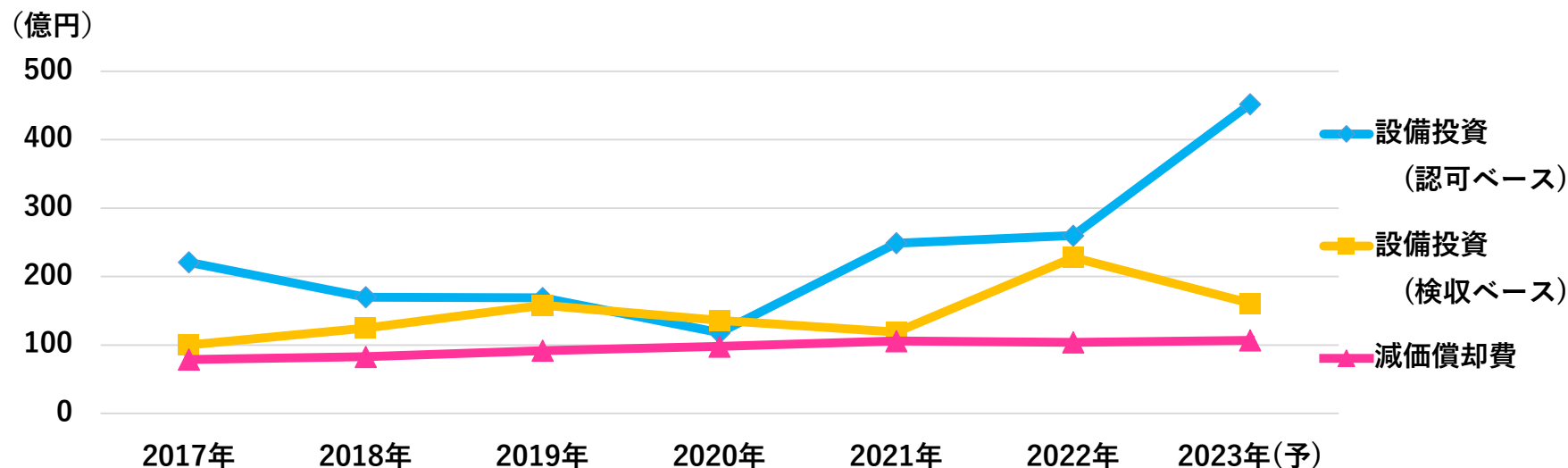
(EBITDA：億円)



連結経営参考数値

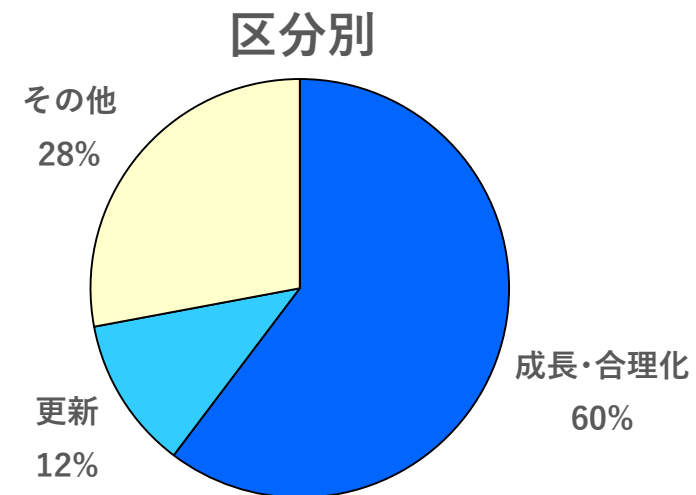
(億円)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年(予)
設備投資 (検収ベース)	100	125	158	136	119	228	161
設備投資 (認可ベース)	221	170	169	118	249	260	452
減価償却費	79	83	92	98	106	104	107
試験研究費	37	36	37	40	43	47	52
海外売上高	242	245	226	221	290	310	286
海外売上高比率 (%)	16.7	16.4	15.6	16.6	18.6	19.3	17.6
有利子負債	121	116	115	113	112	110	119

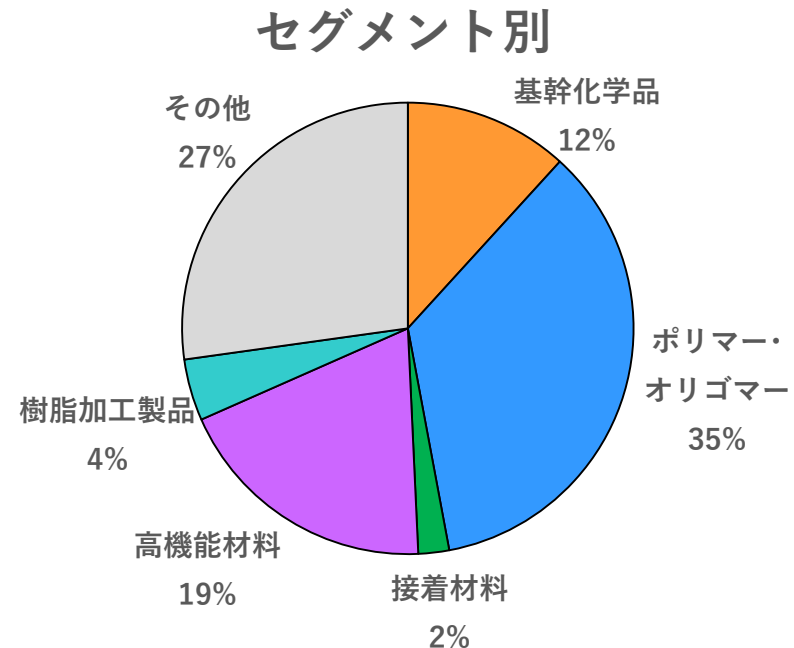


（億円）

区分別	合計	割合
成長・合理化	410	60%
更新	80	12%
その他	190	28%
合計	680	100%



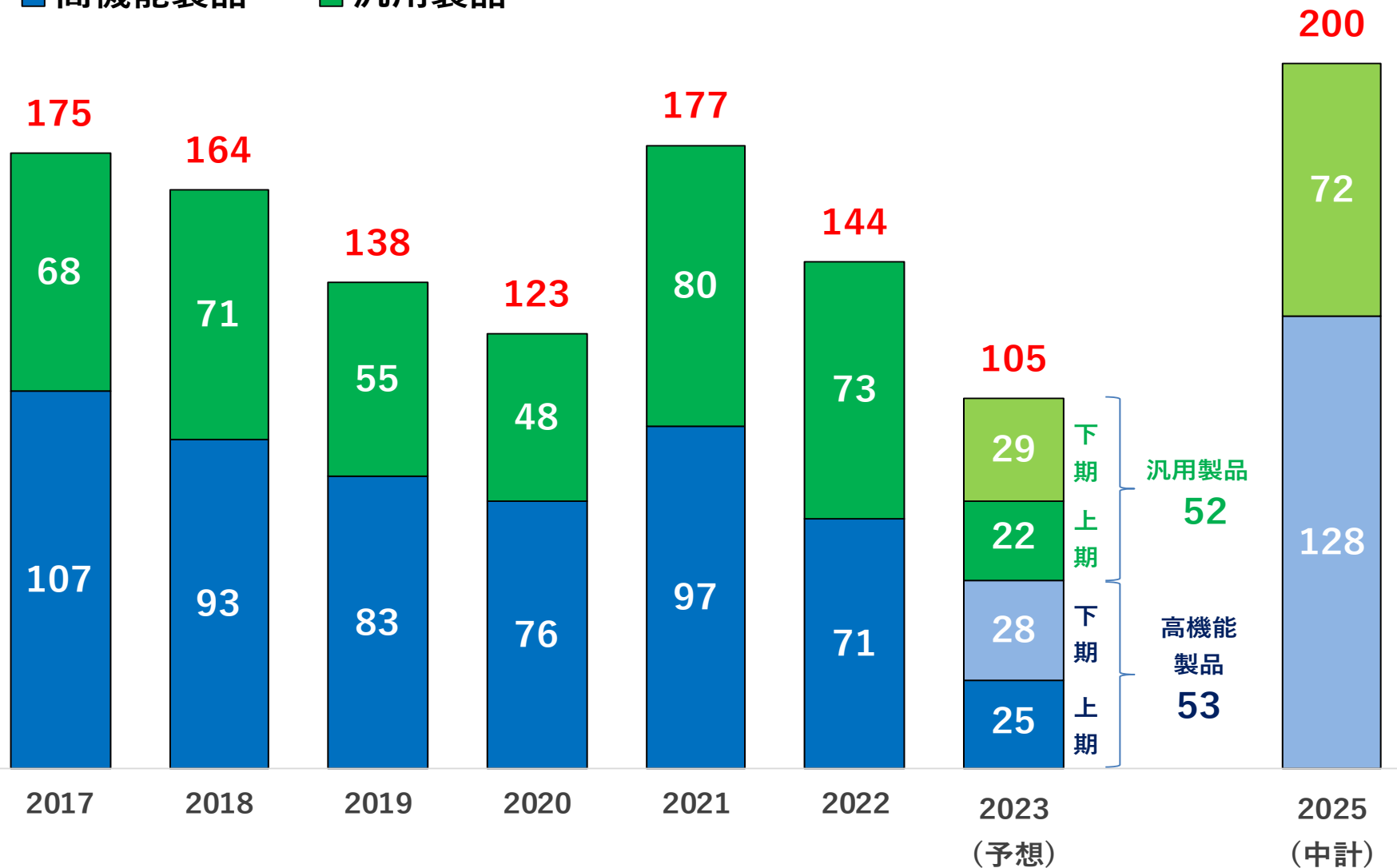
セグメント別	合計	割合
基幹化学品	80	12%
ポリマー・オリゴマー	240	35%
接着材料	15	2%
高機能材料	130	19%
樹脂加工製品	30	4%
その他	185	27%
合計	680	100%



営業利益の推移

単位：億円

■ 高機能製品 ■ 汎用製品



トピックス

(1) 新製品・新技術の開発力強化

- ・ 川崎研究所設立準備
- ・ メディカルケア事業



(2) 海外売上高の拡大

- ・ 中国新会社設立
- ・ アロンアルファのグローバル展開



(3) 持続可能な社会の実現に貢献

- ・ カーボンニュートラルへの取組み

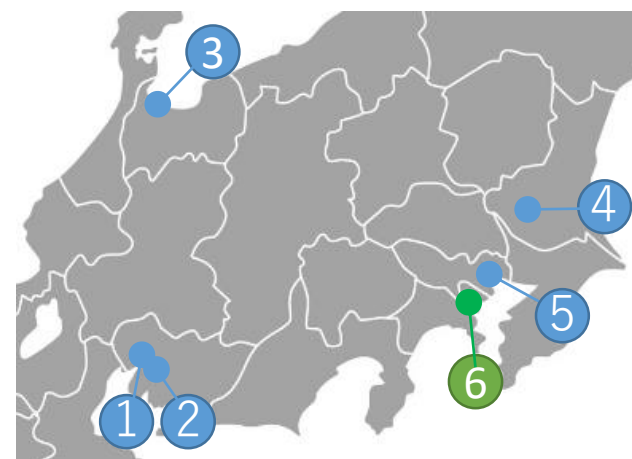


川崎研究所設立準備

当社グループの新たな研究拠点として、
2024年に川崎研究所を開所予定。

（川崎研究所設立の目的）

- ・新規事業（第4の柱）の創出
- ・既存製品群によるビジネス領域の拡大
- ・首都圏の顧客や社外研究機関と連携した製品開発



当社グループ研究拠点

- ①R&D総合センター
- ②モノづくりセンター
- ③高岡創造ラボ
- ④先端科学研究所
- ⑤東京テクノ・ラボ
- ⑥川崎研究所

メディカルケア事業

- ・DDS(ドラッグデリバリーシステム)に適する細胞膜透過性ペプチド「ヌクレオラロン」の事業化。
- ・ハイドロゲルを利用した止血剤を開発中。

中国新会社設立

- ・「東亞合成(上海)企業管理有限公司」を中国における営業・開発・管理業務の中心拠点として5月に設立。
- ・電池分野等の中国市場開発を加速。



東亞合成(上海)企業管理有限公司

アロンアルファのグローバル展開

- ・ 米国 家庭用新製品の販売拡大。事業立て直し案検討。
- ・ 中国 Eコマースの販売強化。
- ・ タイ 納入先の拡大。
- ・ 東南アジア フィリピンなど、販売国を順次拡大予定。



カーボンニュートラルへの取り組み

目標：2030年温室効果ガス排出量50%削減（2013年比）

○再生可能エネルギー発電の自社保有を検討

- ・太陽光発電
工場敷地にメガソーラーの導入を検討。
- ・小水力発電
長野県に小水力発電所の建設を予定（2026年完成）。

○経済産業省のGXリーグに参画

- ・カーボンニュートラルに向けた社会変革と新たな市場創造への取り組みに賛同。

○環境配慮型エラストマー「グリネーブル」の販売開始

- ・植物由来のバイオマス材料を使用したスチレン系エラストマー。引張強度などでの高い性能と環境負荷低減を両立した製品。



グリネーブルで作成したカラーシート

接着材料事業

■ 車載電池用接着剤

バイポーラ型ニッケル水素電池を搭載している新型HV車に順次採用中

搭載車種

- アクア
- クラウン
- LEXUS RX
- 新型アルファード
- 新型ヴェルファイア

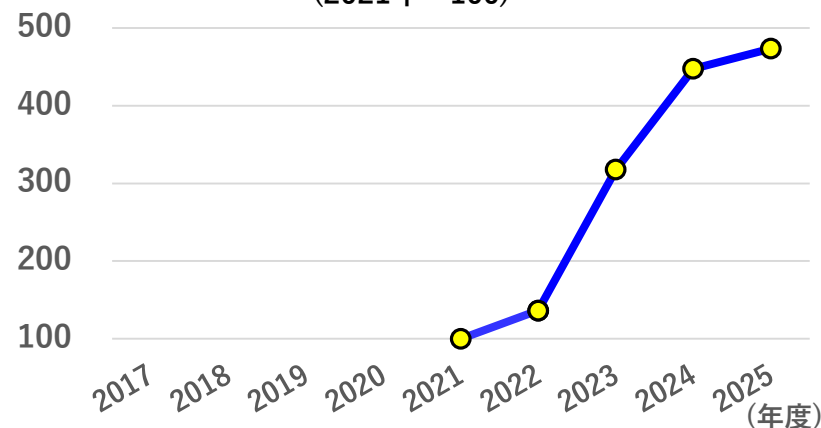


(出典：トヨタ自動車株式会社)

新型ヴェルファイア

車載電池用接着剤 売上高 実績・予想

(2021年 = 100)



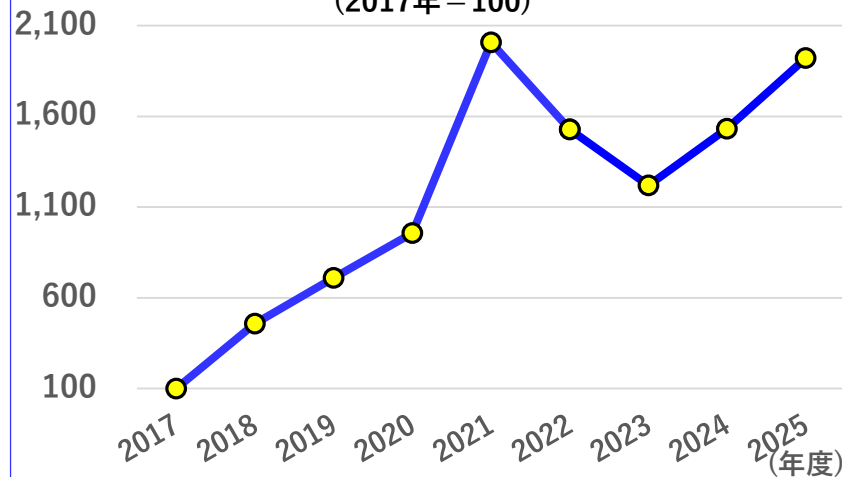
ポリマー・オリゴマー事業

■ リチウムイオン電池用バインダー

膨張抑制による電池の長寿命化
高イオン伝導率で電池を低抵抗化

LIB用バインダー 売上高 実績・予想

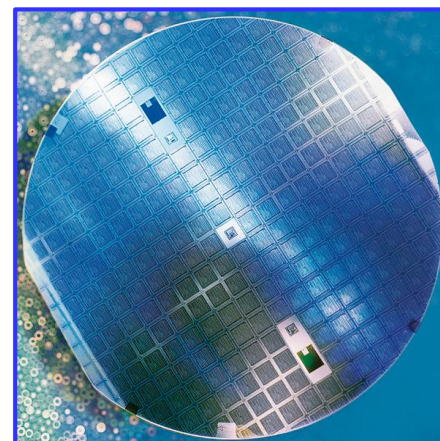
(2017年 = 100)



高機能材料事業

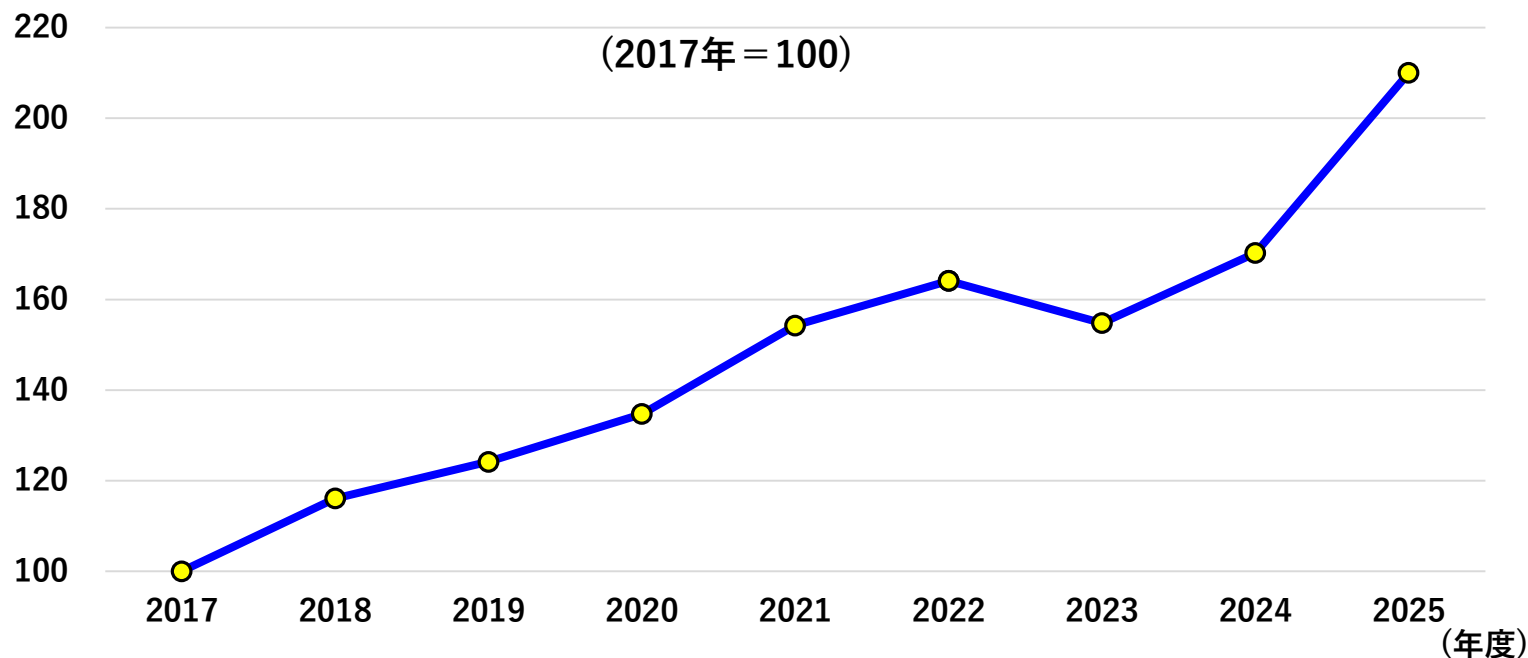
- 高純度液化塩化水素
- 高純度カセイカリ
- 高機能アクリルポリマー

用途：半導体製造時の洗浄・研磨



高純度液化塩化水素 売上高 実績・予想

(2017年 = 100)



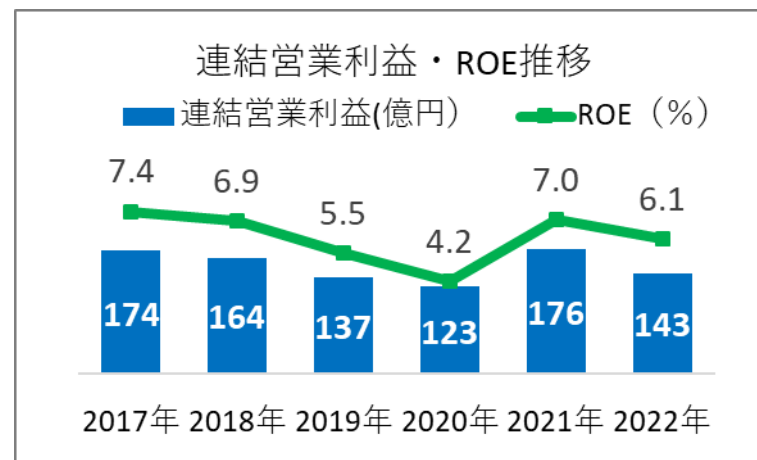
PBR改善に向けた当社グループの取組み

< 当社の現状 >

当社グループの市場評価は、2018年以降PBRが1倍を割る状態が継続

→ 営業利益と自己資本との不均衡によるROEの低迷が、PBR1倍割れの要因

- ① 高機能製品の積極的な設備投資を進めているが、収益化に時間がかかっている。
- ② 自己資本の増加と、利益の成長の不均衡が、資本収益性に影響している。



< PBR改善への取組み >

- ① 収益性の高い高機能製品を、さらに増やす方策が必要である。
そのために、研究開発力の強化と海外市場展開を積極的に推進する。
- ② 自己資本をコントロールし、資本効率を向上させる。

→ 2027年に営業利益240億円、ROE8%を達成した上で、PBR1倍以上の実現を目指す。

2027年にROE8%を実現した上で、PBR1倍超えの実現を目指す。

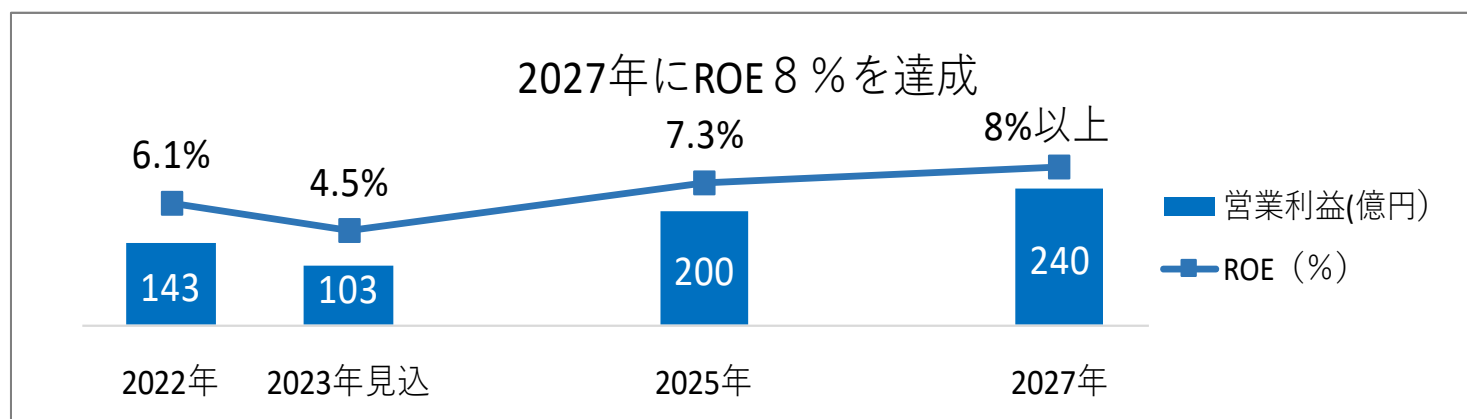
<p>成長戦略</p>	<p>(1)収益力の強化 連結営業利益目標 2025年 200億円 2027年 240億円</p>	<p>モビリティ・半導体・メディカルケア分野の開発力強化と海外展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究開発力強化による高機能製品開発の加速化 (川崎研究所新設によるモビリティ、半導体、メディカルケア分野の開発力強化) 海外販売拠点、生産拠点拡充による海外売上の拡大 (中国・上海に開発拠点、北米に車載電池用ポリマー生産拠点 東南アジア、中東への凝集剤・接着剤の拡販拠点を展開) 前中期経営計画期間の成長投資の収益化 (車載電池用ポリマー、半導体向け製品供給体制強靱化)
<p>財務戦略</p>	<p>(2)資本効率の向上</p>	<p>自己資本コントロール</p> <ul style="list-style-type: none"> 株主還元強化 (2025年中期経営計画期間の期間総還元性向100%目途) 政策保有株式の売却 (2025年末 純資産比10%未満)
<p>非財務戦略</p>	<p>(3)持続可能な社会への貢献</p>	<p>持続可能な成長を支える人財育成とサステナビリティの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な人財の活躍推進 (専門人財の積極採用、グローバル人事戦略推進) GHG排出量削減 (2025年 2013年比▲35%)

成長戦略		2022年	2025年	2027年
	売上高	1,608億円	1,830億円	2,050億円
	営業利益	143億円	200億円	240億円
	EBITDA	250億円	320億円	380億円
	ROE	6.1%	7.3%	8%以上

財務戦略		2022年	2023年~2025年	2026年~2028年
	配当性向	35.5%	期間総還元性向 100%目途	次期中期経営計画で 決定
	総還元性向	69.7%		

※2026年以降の総還元性向は、次期中計の投資計画等の状況を判断し決定。

非財務戦略		2022年	2025年	2030年
	GHG排出量(2013年比)	▲24%	▲35%	▲50%



<成長戦略> セグメント別注力事項

成長ドライバー	モビリティ、半導体分野
第4の柱	セルロースナノファイバー、メディカルケア
競争力強化	基幹化学品、樹脂加工製品



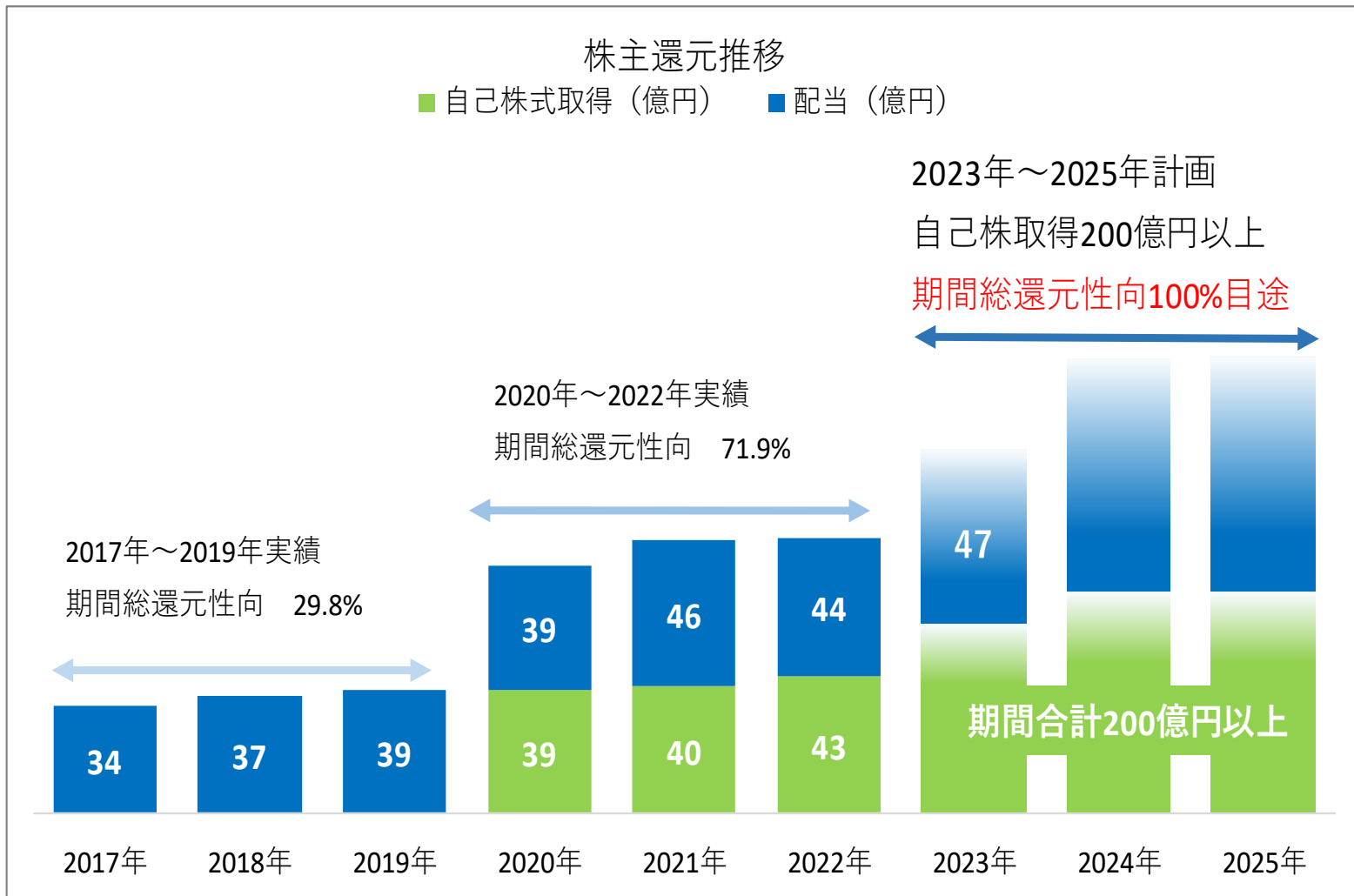
連結営業利益目標
2025年200億円
2027年240億円

単位：億円

セグメント	2023年~2025年	2025年	2026年~2027年	2027年
	注力事項	営業利益	注力事項	営業利益
基幹化学品	省エネ電解設備更新	75	省エネ電解設備更新	60
ポリマー・ポリゴマー	車載電池用・半導体材料用ポリマー	65	次世代電池用ポリマー	70
接着材料	アロンアルファ東南アジア展開 車載電池用接着剤	10	モビリティ向け次世代電池用接着剤	25
高機能材料	半導体向け高純度無機化学品 セルロースナノファイバー	30	半導体向け高純度無機化学品 メディカルケア製品	60
樹脂加工製品	エラストマーのタイ事業拡大	30	バイオマス・生分解製品の上市	30
その他	将来事業・インフラ	▲10	将来事業・インフラ	▲5
合計		200		240

株主還元を強化し自己資本の規模をコントロールする。

- ・今中期経営計画期間（2023年～2025年）は、期間総還元性向100%目途に株主還元を強化
- ・2026年以降は、次期中期経営計画の投資計画の状況等を判断し、株主還元方針を決定



成長戦略を支える人的資本戦略

1. 専門人財の積極採用・外部資源活用

- ・ 第4の柱を担う専門人財（メディカルケア、次世代電池）の積極採用
- ・ ベンチャーキャピタルへの出資による新規テーマ探索と研究員育成
- ・ シグナルペプチドーム研究における東京大学農学部との共同研究

2. エンゲージメント向上

- ・ 報酬、退職金水準の向上などインセンティブ付与による成長と分配の好循環の実現
- ・ 多様性を見据えた職場環境の改善とワークライフバランス施策の推進
- ・ 制度とマインド両面の働き方改革

3. グローバル人事戦略・多様な人財の活用推進

- ・ 海外現地法人の人財情報の可視化、統合管理の仕組み整備による、海外人財の登用と育成
- ・ 海外現地スタッフへの当社経営理念の教育
- ・ 女性管理職比率目標（2025年5%）の達成

參考資料

E (環境)

S (社会)

2019年6月	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言へ賛同
2021年8月	内閣府・文部科学省・経団連「理工チャレンジ (リコチャレ)」イベント実施
2021年12月	「2050年カーボンニュートラル (実質ゼロ)」目標設定 <ul style="list-style-type: none"> ・2030年に2013年比50%削減 (215千トン) ・2050年にカーボンニュートラル (実質ゼロ)
2022年3月	横浜市と「ごみ焼却熱有効利用実現可能性調査に関する覚書」を締結。共同で調査を開始
2022年4月	「東亜合成水素ステーション徳島」開所
2022年7月	アロンアルファ発売50周年企画「夏休み工作教室」イベント実施
2022年10月	「東亜合成グループ人権方針」「東亜合成グループサステナブル調達ガイドライン」を策定
2022年10月	GXリーグに賛同
2022年12月	内閣府、中小企業庁が推進する「パートナーシップ構築宣言」に賛同
2022年12月	「子供の未来応援基金」「一般財団法人あしなが育英会」寄付(2021年から継続)
2023年1月	「従業員向け株式報酬制度 (ESOP)」の導入
2023年3月	「トルコ・シリア地震救援金」、 「グローバル人材育成コミュニティ (トビタテ! 留学JAPAN)」寄付
2023年3月	健康経営優良法人2023「ホワイト500」に認定 (5年連続)
2023年4月	GXリーグに参画
2023年6月	グリーン・サステナブルケミストリー賞 奨励賞受賞 (セルロースファイバ [®] -製造方法)

G (ガバナンス)

2019年3月	買収防衛策の廃止
2019年3月	女性取締役を初めて選任
2020年3月	取締役を対象に譲渡制限付株式報酬制度を導入
2021年10月	<p>「東亜合成グループ コーポレートガバナンス基本方針」改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のとおり、株主還元の向上を図る 連結配当性向 30%程度 連結総還元性向 50%程度を目標 ・政策保有株式の貸借対照表への計上額が連結純資産の10%程度となることを目標にする ・英語開示の推進 決算短信の全文開示(2021年12月期～)
2022年3月	社外取締役を初めて過半数とする(社内6名、社外7名)
2022年4月	東京証券取引所「プライム市場」への移行
2022年8月	英語開示の推進 コーポレート・ガバナンス報告書の全文開示
2022年12月	政策保有株式の貸借対照表への計上額 2022年12月末現在 : 12.0% (保有株残高25,219百万円)

スポーツ振興への取組み



私たちは卓球「Tリーグ」を応援しています。



私たちは **IWAKI FC** を応援しています。

サブセグメント対前年売上高①

基幹化学品事業	前年同期比		増減理由
	23年2Q 会計期間	23年2Q 累計	
無機化学品	114%	119%	販売数量減も、昨年からの価格改定により増収
アクリルモノマー	75%	85%	販売数量減と海外市況悪化により減収
工業用ガス	128%	115%	販売数量減も、価格改定により増収

ポリマー・オリゴマー事業	前年同期比		増減理由
	23年2Q 会計期間	23年2Q 累計	
ポリマー	90%	100%	販売数量減も、昨年からの価格改定で前年並み
オリゴマー	81%	81%	電子材料向け販売数量減により減収
凝集剤	93%	91%	輸出および土木関係向け販売数量減により減収

サブセグメント対前年売上高②

接着材料事業	前年同期比		増減理由
	23年2Q 会計期間	23年2Q 累計	
瞬間接着剤	94%	95%	販売数量減により減収 家庭用：ホームセンター来客数減少 工業用：自動車向けおよび米国での販売数量減
機能性接着剤	124%	110%	車載用電池向け販売数量増により増収

高機能材料事業	前年同期比		増減理由
	23年2Q 会計期間	23年2Q 累計	
無機機能材料	107%	97%	電子部品向けイオン捕捉剤の販売数量減により減収
高純度無機化学品	96%	100%	販売数量減も価格改定により前年並み
新規開発品	—	—	メディカルケア製品の試験用サンプルの販売で増収

サブセグメント対前年売上高③

樹脂加工製品事業	前年同期比		増減理由
	23年2Q 会計期間	23年2Q 累計	
管工機材	93%	90%	住宅着工戸数の伸び悩みによる販売数量減で減収
ライフサポート	106%	106%	新製品の販売と価格改定により増収
エラストマー コンパウンド	121%	120%	飲料用シール材などが伸びて増収

セグメント別 売上高 四半期推移

(百万円)

	2022年度					2023年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	下期 (予想)	通期 (予想)
基幹化学品	15,941	19,079	19,315	19,594	73,929	17,243	17,859	39,098	74,200
ポリマー・オリゴマー	9,116	8,884	8,921	8,886	35,807	8,525	7,900	18,675	35,100
接着材料	2,758	2,672	2,812	2,892	11,134	2,680	2,928	6,392	12,000
高機能材料	2,470	2,513	2,443	3,040	10,466	2,517	2,768	5,115	10,400
樹脂加工製品	7,013	6,695	6,794	7,252	27,754	6,775	6,814	15,511	29,100
その他・調整額	450	383	454	445	1,732	455	481	664	1,600
合計	37,750	40,227	40,740	42,108	160,825	38,198	38,749	85,455	162,400

注記：2022年は、2023年のセグメント変更を反映した値

セグメント別 営業利益 四半期推移

(百万円)

	2022年度					2023年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	下期 (予想)	通期 (予想)
基幹化学品	1,769	2,094	2,154	790	6,807	1,165	1,040	3,295	5,500
ポリマー・ オリゴマー	1,317	983	1,069	889	4,258	809	530	1,561	2,900
接着材料	77	▲18	▲26	▲288	▲255	▲116	▲45	261	100
高機能材料	578	567	531	685	2,361	478	481	541	1,500
樹脂加工製品	474	338	586	361	1,759	283	386	731	1,400
その他・ 調整額	▲108	▲182	▲152	▲106	▲547	▲34	▲231	▲635	▲900
合計	4,109	3,782	4,163	2,328	14,382	2,587	2,159	5,754	10,500

注記：2022年は、2023年のセグメント変更を反映した値



地球はつづく、
化学でつなぐ!

 **東亞合成**

- 業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。
- 本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。